



もっと知りたい
ちっごの課題

常任委員会報告

提出された議案をくわしく審査!

総務文教委員会

委員会では、条例制定7件、補正予算2件、地方独立行政法人筑後市立病院定款の変更、同病院第2期中期計画の認可について審査し、全員賛成にて原案可決した。

市雇用の教師

良い人材の確保を

筑後市教育職員の給与等に関する条例制定については、小学校の35人学級実施のために市で雇用する教員の給与を定めるもの。

委員より「どんな人材を雇用するのか」との質問に「人材確保に苦慮しているが、いい人材、指導力のある教師を雇用したい」また「教職員には

時間外勤務手当の代わりに教職調整額を支給するが、時間外勤務の実態は」との質問に「超勤削減について校長会と協議している」との答弁があった。

地方創世に伴う

地方版総合戦略を

策定

平成26年度一般会計補正予算では、国の補正予算に伴う、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金などが交付されることでの補正予算を計上し、27年度に繰り越すと

委員より「地方版総合戦略の策定のための基礎調査について、総合戦略策定は、今後交付金を得るうえで大切になる。策定委員等の人選は裾野を広げるべき」「他の計画との整合性を図るべき」との意見に「住民代表、大学、産業界等の人々で構成する組織で審議する。他の計画と相反する計画にはならない」との答弁があった。



子どもたちの学習環境改善

また、国の小中学校空調設備設置事業交付金が採択されたことに伴う補正がなされた。

厚生委員会

委員会では、条例改正4件、補正予算2件、その他の議案1件を審査し、すべて原案可決した。

3歳未満児の保育

ニーズは年々増加

筑後市保育所設置条例の一部を改正する条例制定については、現在3歳

未満児の入所ニーズが高く、前年度と比較して40人程度増加。施設整備を行い、定員増を図る計画であると説明があった。

介護予防事業の

強化は急務

筑後市介護保険条例の一部を改正する条例制定については、採決の結果、可否同数となり、委員長採決により原案可決となった。

「さんかく塾」や「地域デイサービス」などの介護予防事業は、介護給付費を下げるために貢献



行政区で行われている
地域デイサービス(寛元寺はつつ会)

委員より「緊急車両がバックする時などは、他の職員が、安全確認するというようなマニュアルはないのか」との質問に「当然、マニュアルに従って活動している。バック時は誘導員をつけるようになったり、周囲の安全確認をして活動するという基本的なことができている。今回の事故は、危機管理意識が低かったと言わざるを得ない。今後しっかり指導していきたい」と答弁があった。

緊急車両運轉時の

マニュアル履行徹底を

しており、これまで以上に支援を強化していきたいと説明があった。

損害賠償の額を定める

ことについては、救急車とタンク車が緊急出動中に、タンク車が駐車中の自動車に接触し、自動車、住宅及び塀に損害を与えたもの。

建設経済委員会

委員会では条例改正1件、補正予算2件、市道路線の認定1件、訴えの提起1件について審査し、全議案とも全員賛成にて原案可決した。

市営住宅家賃滞納者

に明渡し訴訟

訴えの提起については、委員より「市営住宅家賃滞納者明渡し請求告訴要綱はあるのか」との質問に対し「要綱はないが『筑後市営住宅家賃長期悪質滞納者選定基準』というものがあり、12カ月以上、30万円以上の滞納があり、再三の督促、指導にも関わらず、滞納が増加している人が訴えの対象になる」ということを



定めている」との答弁があった。

プレミアム商品券

5月より発行

プレミアム付商品券発行事業については、委員より「事業経費は、市の負担はあるのか。また、発行時期と発行金額は」との質問に対し「国からの交付金を最大限活用するため、実質的な市負担はない。

この事業は、商工会議所が主体であり、時期や金額については今後の運営協議会で決定される。発行時期は第一弾が5月11日、第二弾が8月3日から、それぞれ2億5千万円を発行する予定である」との答弁があった。

筑後船小屋駅に

観光案内所設置

観光ボランティアの育成、筑後船小屋駅前に設置される観光案内所の設置については、委員より「フォーム球場への来場者を観光地へ案内することとは考えているのか」と

の質問に「来場者をいかに観光客にしていくかが大事である。それが観光課としての仕事であり、観光ボランティアにも協力をお願いしたい。研修し、案内経験を積むことでボランティアの資質向上に努めたい」との答弁があった。



筑後市観光ボランティア「恋のくに案内人」の皆さん